

2023年静岡大学人文社会科学部

公務員試験「小論文」対策 (第5講 資料の理解)

国家資格キャリアコンサルタント

ULTRA® Master Trainer

クロイワ 正一

1

Understand(文章の理解)

- 文章の構造的理解(構造=しくみ、つくり)
 - 段落読み(ミクロ・リーディング)
 - 段落内(ブロック内)キーワードの選定
 - その段落ではどんなメッセージを伝えたいのか、その中心となるべき考えを象徴するキーワードを探る
 - 全体読み(マクロ・リーディング)
 - 各キーワードの比較・全体内役割検討
 - 文章全体で各段落が果たしている役割を探る(文章全体の構造の理解)

2

要約の手順

- 文章の構造的理解
 - 論は?論拠は?
- 字数調整
 - キーワード(Key Word)の優先順位を理解
 - 指定字数に合わせて上位から選択
 - キーワード(KW)をつないでまとめる
 - 注意
 - キーワードは言い換えない
 - キーワードの順序は変えない

3

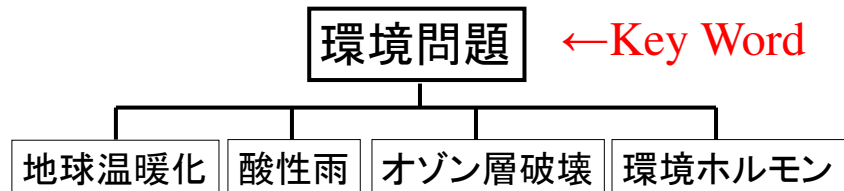
キーワードを1つ選ぶ

1. 20世紀後半から環境問題がクローズアップされてきた。CO₂など温室効果ガスによる地球温暖化はその典型的な例である。また、酸性雨、オゾン層破壊、環境ホルモンなども地球生態系の存続に黄色信号を灯している。
2. 近代以降、科学技術の発展に伴い、私たちの日常生活にさまざまな利便性がもたらされてきた。しかし他方で、環境問題など予期せぬ不都合も生じるようになった。とくに20世紀後半からそうした問題が深刻化し、人類自身の存続可能性を狭める域にまで達してきた。今後私たちは、科学技術の利用に関して根本的な解決策を講じなければならない。

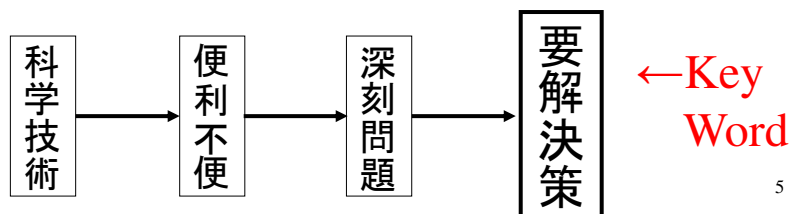
4

キーワード探索のコツ

- **まとめことば**(抽象度の高いことば)



- **むすびことば**(段落・ブロック内の結論)



5

【例題】

- 次の文章を読み、問いに答えよ。

問1 100字以内で要約しなさい。

問2 文章の内容について800字以内であなたの考えを述べなさい。

【問題文】は次以降のスライドを参照

6

(第1段落)

現代の家族はさまざまな点で変化している。先進国では、産業構造が変化し農村部から都市部へと人口流出が進んでいる。そして、形態的には核家族化と家族規模の縮小化が促されている。都市部においては夫婦と子ども2人という核家族が、今や日常的である。

7

(第2段落)

家族のあり方に大きな影響を与えた要因は2つの方向から考えることができる。第1に、女性の社会進出である。第3次産業が盛んになることにより、女性の職場が拡大された。また、家庭電化製品やレトルト食品が普及したことも、女性の就労を促した。仕事を持つ主婦の数は昭和58年(1983年)以降、専業主婦の数を上回っている。

8

(第3段落)

日本の女性の就労パターンは、さまざまな学校を卒業した後就職するが、結婚と出産で一度、仕事を辞めて家庭に入り、子どもから手が離れてから再び就労するM字型のパターンであると指摘される。結婚したら家庭に入るといふ、戦後続いてきた日本女性の生き方と変わってきているのは、子育ての時期においても、子どもの預かり合いをしながら、学習や地域のいろいろな社会的活動に参加していることである。

9

(第3段落つづき)

つまり、専業主婦でも、社会参加しているのが近年の特徴なのである。そして子どもに手がかからなくなると、多くの妻たちがパートタイマーとして再び職場に出る。「嫁いだら夫に従え」と教え込まれた戦前生まれの女性と違って、男女平等思想を身につけた戦後育ちは、自分の意見を口に出して主張し、行動できる世代である。このような女性の積極的な社会進出が家族に与えた影響は大きい。

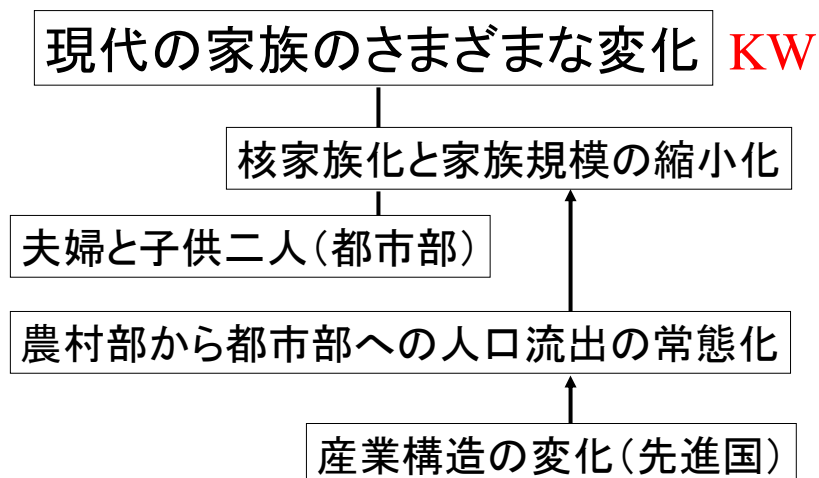
10

(第4段落)

現代の家族の変化に影響を与えている第2の大きな要因は、高齢化の問題である。寿命の伸びにともなって、60代の子どもが80代、90代の親の世話をしているいわゆる「老老介護」の例も珍しいことではなくなった。差し迫った老親の介護だけでなく、人生80年間をどう生きるかということが私たち一人一人が考えなければならない課題である。そして、この課題も、今後の家族のありかたと密接に関わってくるであろう。

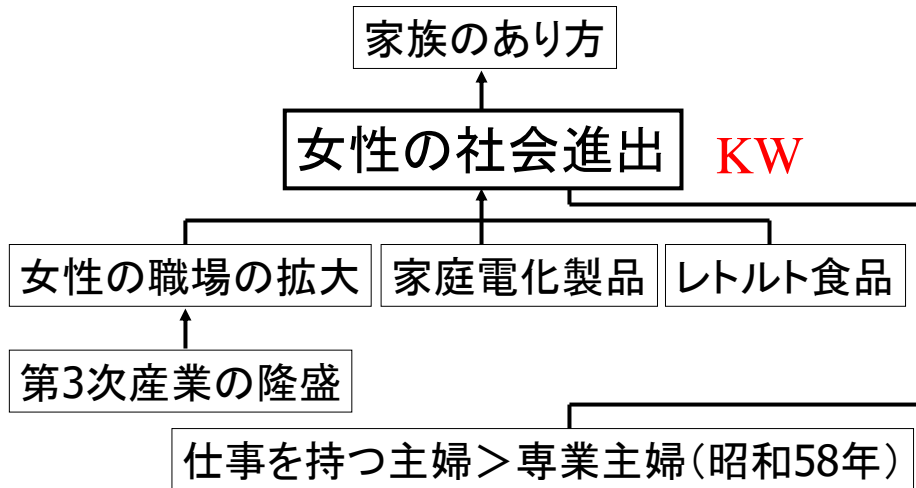
11

第1段落のつくり(構造)



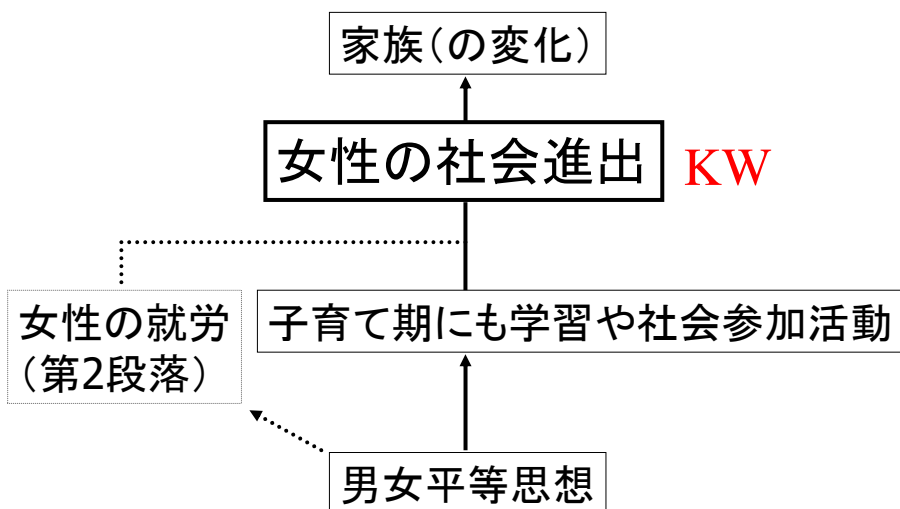
12

第2段落のつくり(構造)



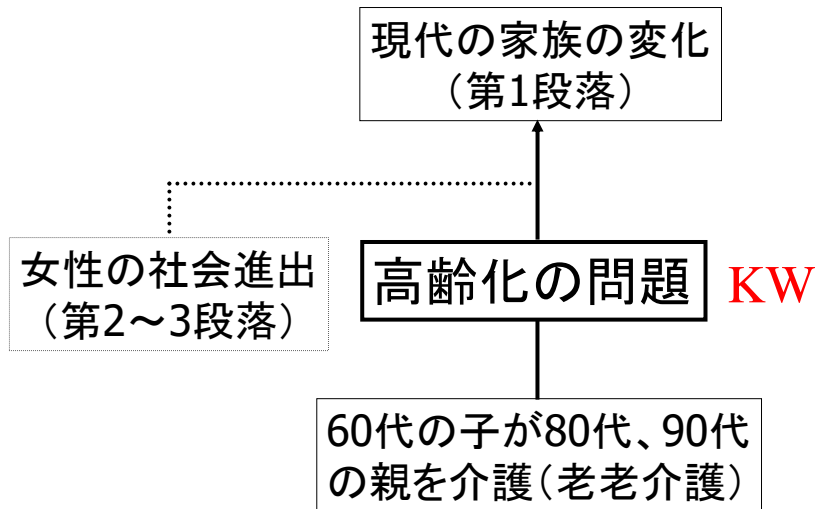
13

第3段落のつくり(構造)



14

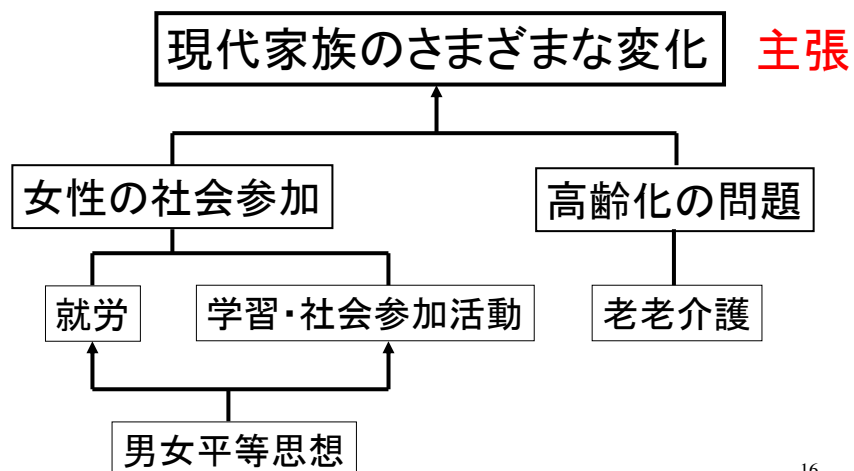
第4段落のつくり(構造)



15

文章構造のピラミッド化

- キーワードの階層化



16

要約字数と盛り込む内容

- ・ 10字以内で**表題(タイトル)**をつけよ
 - 現代家族の多様な変化
- ・ 25以内で**表題(タイトル)**をつけよ
 - 現代家族の多様な変化を招いた女性の社会進出と高齢化
- ・ 40字以内で**主旨(要旨)**をまとめよ
 - 現代の家族は多様に変化しているが、その主な要因は、女性の社会進出と高齢化である。

17

問1(要約例)

核家族化や家族規模の縮小化など、現代の家族はさまざまな点で変化している。その変化の第1の要因は、男女平等思想を身につけた現代女性の積極的な社会進出である。第2の要因は、老老介護など高齢化の問題である。(100字)

18

クリティカル・リーディング 批判的読解

- **ことば**で書かれたものは必ず批判できる
 - **ことば**=**現実世界**の「切り取り」
 - ゆえに筆者が「切り取れなかった」現実を想像
- 「現代の家族は本当に変化している」のか？
 - 変化している部分
 - 核家族化、家族規模の縮小化は確かにあるが.....
 - 変化していない部分
 - ○○は江戸時代から変わっていないじゃないか.....
- だから**自分**の文章(論)も必ず**批判**される
 - 「お互いさま」なのだから恐れてはいけない

19

Understand (図表の理解)

- 表やグラフの読み取り方
 - 全体的傾向を読み取る
 - 多少のズレは無視する
(誤差)
 - 部分的特徴を読み取る
 - 大幅なズレには注目する
(有意差)
-
- 全体傾向
- 部分特徴

20

【例題1】

次のページの表は、ある年の日本人の成人男子・女子の平日の家事時間を表したものです。

この表からわかることを読み取り、あなたの考えを述べなさい(全体で800字以内)。

21

表：性・年齢別、平日の家事時間（平均時間）

	男子	女子
成人全体	32分	4時間32分
20歳代	22分	2時間50分
30歳代	32分	6時間31分
40歳代	22分	4時間52分
50歳代	24分	4時間32分
60歳代	49分	4時間30分
70歳以上	1時間07分	3時間20分

※注：家事時間とは、炊事・掃除・洗濯、買い物、子どもの世話、家庭雑事にかかった時間の合計である。

22

Understand (図表の理解)

全体的傾向と部分的特徴の読み取り

	男子 ←	→ 女子
成人全体	32分	4時間32分
20歳代	22分	2時間50分
30歳代	32分	6時間31分
40歳代	22分	4時間52分
50歳代	24分	4時間32分
60歳代	49分	4時間30分
70歳以上	1時間07分	3時間20分

表から読み取れる特徴

1. 男子よりも女子のほうがすべての年齢において圧倒的に家事時間が長い
2. 男子は、ほぼ年齢が高くなるにつれて家事時間も長くなっている
3. 女子は30歳代を頂点として、それ以降は年とともに家事時間が短くなっている
4. 女子の30歳代の家事時間は、男子と比べても、女子の他の年代と比べても、極端に長い

図表を読み取る際の注意

- 顕在化している情報のみを読み取る
 - 誰が見てもわかる客観的情報
- 潜在化している情報は「意見」で指摘
 - 表面的に現れていない情報は「図表の読み取り」結果としては提示しない
 - 「私の考え」として指摘する
 - 「30歳代女性は結婚や出産・育児のために家事時間が極端に長くなっている」→「読み取り」結果ではなく「考え」として指摘

25

2023年静岡大学人文社会科学部

公務員試験「小論文」対策
(第6講 ULTRA®の実践②)

国家資格キャリアコンサルタント

ULTRA® Master Trainer

クロイワ 正一

26

ULTRA® チャレンジ

【練習問題】

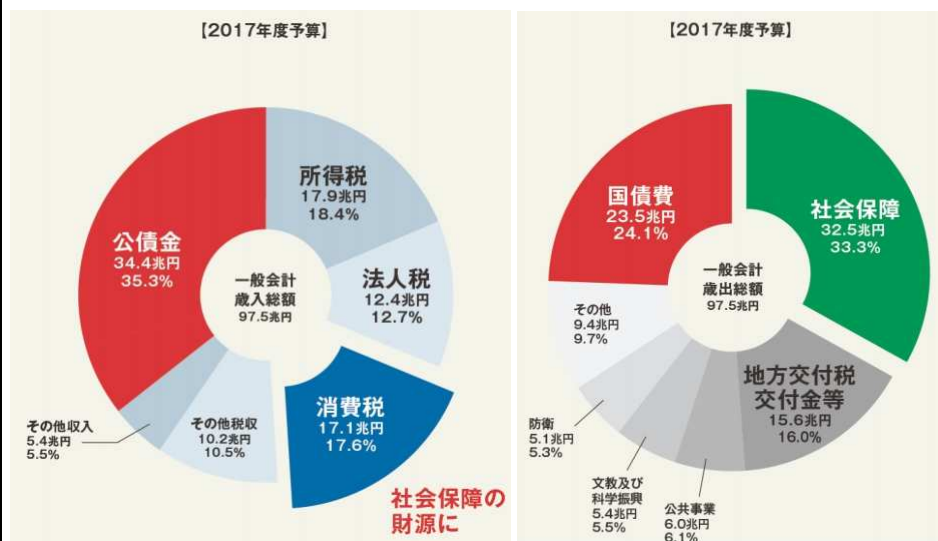
我が国では前世紀末の平成7（1995）年以降、生活保護受給者数（被保護人員）が急増し、平成27（2015）年3月には約216万人と過去最高になり、平成29（2017）年は約214万人である。生活保護負担金も上昇し続け、平成27年度で約3.8兆円に達し、国や地方公共団体の財政にとって大きな負担となっている。こうした状況に関して次頁の2つの図も参照し、以下の問いに答えなさい。

[1] 生活保護制度については、憲法が保障する健康で文化的な最低限度の生活を守るためのセーフティネット（安全網）であり、国民に与えられた当然の権利であるとする意見がある一方、生活保護制度への過度の依存は、かえって個人の自立を妨げ、貧困や経済的格差の固定化につながりかねないという意見もある。この点に関するあなたの考えを簡潔に述べなさい（800字以内）。

[2] 近年、生活保護受給者数が急増している要因として考えられるものを挙げた上で、生活保護制度を効果的、効率的なものとするために有効と考えられる行政の施策について述べなさい。なお、雇用・年金など他の社会保障制度との関連や、国や地方公共団体の財政、現行の生活保護制度の問題点等に留意すること（800字以内）。

27

図：平成29年の歳出および歳入



財務省発行『これからの日本のために 財政を考える』（平成29年4月版）より転載

28

Understand(設問と図の理解)

- 設問[1]の分析的理解
- 設問[2]の分析的理解
- 図の分析的理解

29

Understand(設問と図の理解)

- 設問[1]の分析的理解
 - (1)論点は「生活保護制度への過度の依存が個人の自立を妨げ、貧困や経済的格差の固定化につながりかねないという意見」について。
 - (2)「生活保護制度はセーフティーネットとして国民に当然の権利である」という意見があることも配慮する。
 - (3)「あなたの考え」を求められている。

30

Understand(設問と図の理解)

• 設問[2]の分析的理解

- (1)論点＝生活保護制度を効果的、効率的なものとするために有効と考えられる行政の施策」について。
- (2)「生活保護受給者数が急増している要因として考えられるもの」を挙げる。
- (3)「雇用・年金など他の社会保障制度との関連や、国や地方公共団体の財政、現行の生活保護制度の問題点等」にも留意すること
- (4)「あなたの考え」を求められている。

31

Understand(設問と図の理解)

• 図の分析的理解

- (1)「歳出」の最大値は社会保障関係費（その中に生活保護も含まれる）。
- (2)「歳入」の大半は公債金（＝借金、赤字国債が大半）。

32

Logic(論理づくり)-[1]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

33

Logic(論理づくり)-[1]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

34

Logic(論理づくり)-[1]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

(1)帰納法による発想

- 「生活保護制度」問題の具体的事実の想起:
「収入の高い芸能人の親族が生活保護を受けていた」というマスコミ報道
「生活保護の不正受給」を自慢する近隣住民

⇒一般化

社会保障関係費は公正に支給されていない実態は確かにある(背景には行政依存とモラルの低下が見え隠れしている)

35

Logic(論理づくり)-[1]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

(2)演繹法による発想

- 「生活保護制度」問題に応用できる一般的傾向の想起:
• 制度疲労論:社会制度は、社会秩序を維持したり、混乱を少なくするために制定されるが、社会そのものが変化してしまうと機能しなくなる。

⇒具体化

戦後の混乱期ならいざ知らず、現代日本では餓死するほどの貧困はそれほど存在しない。ゆえに200万人は多すぎる。

36

Trimming(整理) -[1]

- 序論
- 本論
- 結論

37

Trimming(整理) -[1]

- 序論
 - ・導入:歳入における公債金(借金)への高依存度、歳出における社会保障関係費の高比率を見ると日本の財政は極めて不健全であり、さらなる高齢化も鑑み社会保障費制御は必須課題である。
 - ・論点:そこで、社会保障関係費に含まれる生活保護費をどう考えるか。
 - ・論:設問にあるように、経済的自立を妨げ、依存体質にする可能性があるため、見直すべき。

38

Trimming(整理) -[1]

- 本論

- ・論拠: 明らかに生活保護制度を恣意的に悪用し、不正受給している事例が散見されるからである。経済成長を終えた日本では、行政からの自立こそ望まれるのに、これでは依存が高まるばかりだ。本来あるべきセーフティーネットの枠を超えた「国民をスポイルする施策」になってしまっている。

- ・具体例: マスコミでも多々報道されたが、日本人の平均年収をはるかに超える複数の芸能人の近親者が生活保護の不正受給を受けていた。

39

Trimming(整理) -[1]

- 本論(具体例のつづき)

近隣にも「生活保護が受けられなくなるから、表向きの収入は押さえておく」といった自営業者もいる。そのくせ、暇さえあればギャンブルに打ち興じ、さらに不正受給を他者に薦めてさえいた。やはり、現行の生活保護制度はセーフティーネット以上の過保護な施策として、少なからぬ国民の経済的自立を妨げている。しかも、そのような受動的な経済生活では貧困層はそこから抜け出すことはできない。

40

Trimming(整理) -[1]

- 結論

- ・論の確認:人口減少に伴う税収の低下が予測される中、高齢化の急速な進展に伴い医療費、年金など社会保障費の需要は、今後さらに高まる。そのように財源の有効活用は必須課題である。それゆえ、餓死や凍死を防ぐといった本来の意味でのセーフティーネット機能は残すべきだが、よりよい人生への投資意欲を殺ぐような過保護施策は見直す必要がある。

- ・方向性:行政人として、貴重な財源をより公平かつ公正に分かち合えるような合意形成を図りたい⁶¹

Action(表現) -[1]

- ・整理した構成を膨らませながら正しい日本語で書く。

Logic(論理) -[2]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

43

Logic(論理) -[2]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

44

Logic(論理) -[2]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

(1) 帰納法による発想

・「生活保護制度」問題の具体的事実の想起:
「既存産業構造(製造業主体)の労働市場が収縮しているので単純作業の労働者(ライン、事務職など)には仕事がない」

「貧困層の経済的自立を促したマイクロファイナンス」(バングラデシュのグラミン銀行など)

⇒一般化

新しい産業を興す契機と生活保護の削減とを両立する施策が必要

45

Logic(論理) -[2]

- 具体的事実(帰納法)や一般的傾向(演繹法)を想起する

(2) 演繹法による発想

・「生活保護制度」問題の一般傾向の想起:
「マッチング理論(需給バランスの調整)」(需要の高い領域で働ける労働者の育成と供給により生活保護者を軽減する)

⇒具体化

需要の高い労働市場に特別なスキルや資格が必要な場合、それらを身につけることを条件に本来の意味でのセイフティーネットを支給する。

46

TRimming(整理) -[2]

- 序論
- 本論
- 結論

Trimming(整理) -[2]

- 序論
 - ・導入:生活保護受給者が急増した背景には、長らく続いた経済成長が停滞し、労働市場が収縮している現状があることは明らかである。加えて、前問でも述べたようにモラルの低下や行政への依存の姿勢が高まっていることも、受給者が減少しないことに関与していよう。
 - ・論点:では、どうすれば生活保護制度の効果的、効率的運営が可能だろうか。
 - ・論:生活保護受給の条件として経済的自立につながる自己投資を促すことが有効であろう。

Trimming(整理) -[2]

- 本論

・論拠: 高度経済成長期、そして低成長期(バブル期)、さらには成熟期への移行に伴い、産業構造が変化し、従来の労働市場は明らかに収縮してきた。それゆえ、既存の労働市場に固執すると就労できる可能性は低くなり、新しく需要のある労働市場が生活保護受給者など失業者を吸収する必要がある。しかし、そうした市場ではITスキルや介護資格など、特別な訓練が要求される。

49

Trimming(整理) -[2]

- 本論(つづき)

そのために、生活保護を支給する際には、支給する期間を決め、期間内にそうした市場で働ける資格やスキルを習得することを半ば義務づけるのだ。もちろん、障害者や高齢者など、社会的弱者に対する福祉政策はこの限りではない。

・具体例: 看護師、介護福祉士、WEBデザイナー、東北復興人員などは極めて需要が高いが、特殊な資格やスキルも要求される。

50

Trimming(整理) -[2]

- 結論

- ・論の確認:やはり、受給者の中長期的なキャリア形成も考え、経済的自立を促す方向での生活保護制度の確立が必要である。

- ・方向性:産業構造が大幅に転換し、戦後モデルが成立しなくなった現在、産業と雇用を調整する役割こそ、行政に課されたミッションである。その一端を担える人材になりたい。

51

Action(表現) -[2]

52

2023年静岡大学人文社会科学部

公務員試験「小論文」対策 (第7講 テーマ学習)

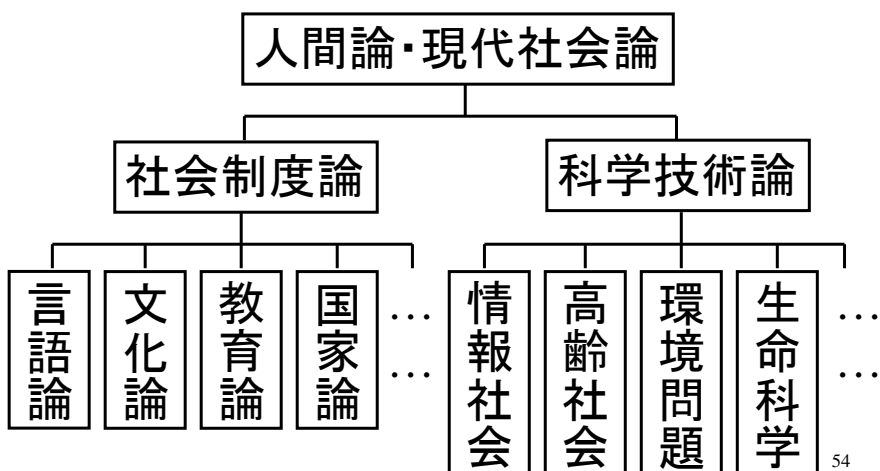
国家資格キャリアコンサルタント
ULTRA® Master Trainer

クロイワ 正一

53

公務員小論文のテーマ

- 具体的～抽象的・根本的なテーマ



54

人間論・現代社会論

- 人間論 (Analog, Digital, Absurdity)
 - 人間は環境と連続してAnalog存在するが
 - 環境と離散してDigital思考し、創造し
 - 自己矛盾Absurdityを招く存在である
- 現代社会論 (Problem, Treatment)
 - 現代社会はそうした自己矛盾が問題化Problemし
 - 解決策、処方Treatmentを要する

55

アナログとデジタル



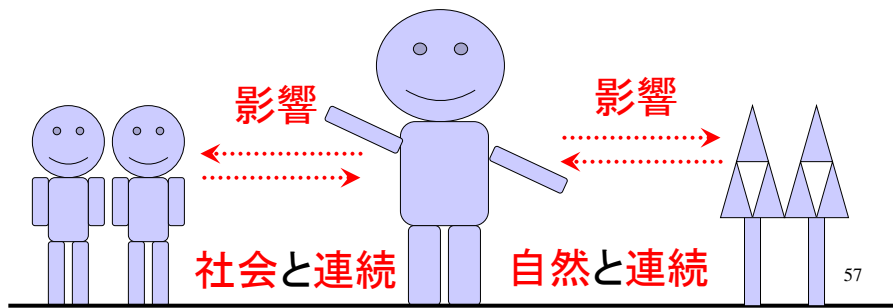
時が「連続」している



時が「離散」している ⁵⁶

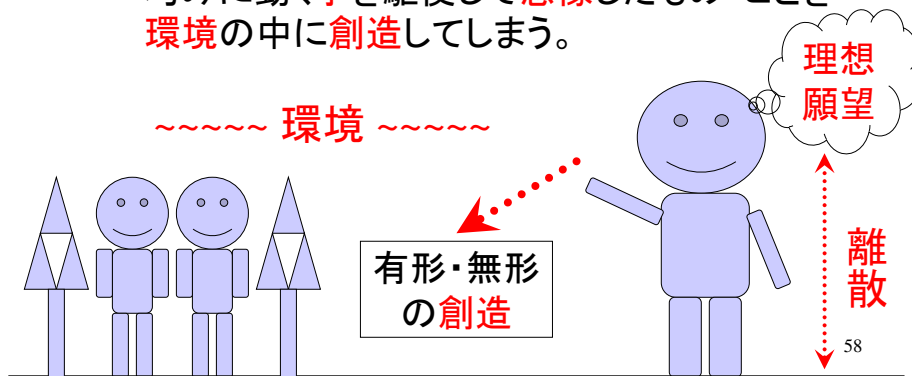
Analog (連続性) な存在

- 人間は社会や自然と連続して生きている
 - 人間は社会環境の中で他の人間の影響を受け、また影響を与えながら存在している
 - 人間は自然環境の中で他の自然物の影響を受け、また影響を与えながら存在している



Digital (離散性) な思考

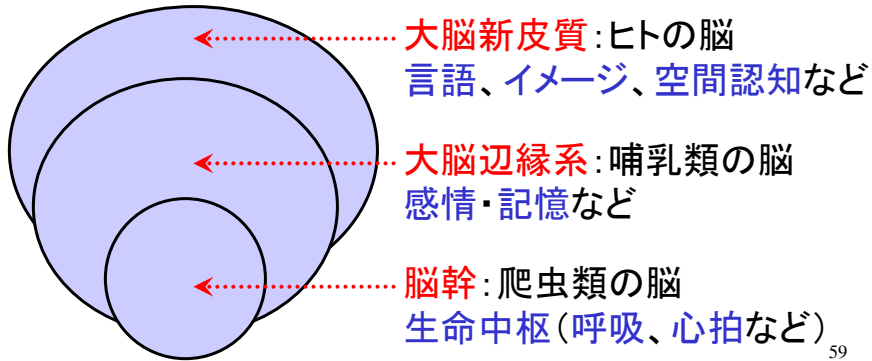
- 人間は環境と離散した思考をしている
 - 言語やイメージを駆使して「環境にないもの・こと」を想像する(理想、願望など)。
 - 巧みに動く手を駆使して想像したもの・ことを環境の中に創造してしまう。



Digital思考が得意な脳

- 人間の脳の特徴

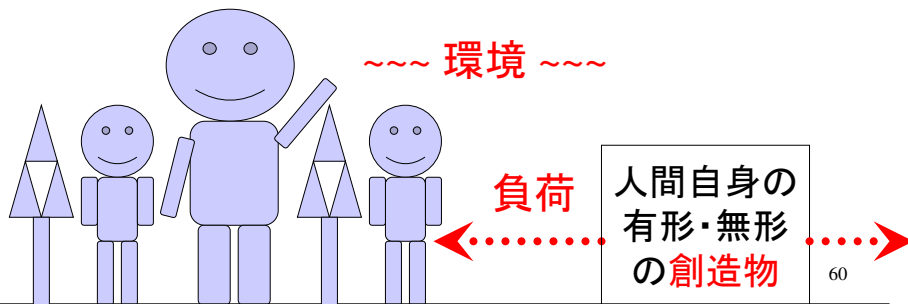
- 大脳新皮質の容量が他の動物に比べ大きい
- 大脳新皮質の役割(言語、イメージなど)



59

Absurdity (矛盾・不合理)

- 人間が創造する事物は環境に負荷を与える
 - 人間の想像(理想・願望)は必ずしも環境の存続にとって好ましいものではないから、環境にとって負荷となることもある
 - 住みにくい社会環境、自然環境 ⇒ 反理想



60

Problem(問題群)

- 例①: **高齢化**
 - 「皆が長生きできる社会」を**理想**として、医学を開発してきたが、本当に皆が長生きしてしまつて「高齢者を支えることが難しい社会」を生み出してしまつた**自己矛盾**(年金・医療費の財源不足、寝たきり・認知症の介護など)
- 例②: **高度情報化**
 - 「いろいろな情報を皆で分かち合える社会」を**理想**として、ICT(Information Communications Technology)を開発してきたが、本当にどんな情報でも分かち合えるようになり、「知られたくない情報も探られる」という**問題**を招いてしまつた(個人情報から国家機密に至るまでの漏洩など)。

61

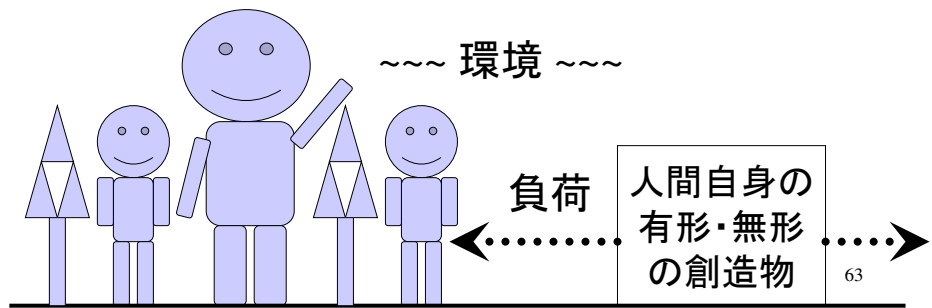
Treatment(対処)

- **批判精神**に基づく**想像力**(imagination)
 - 人間の**思考、創造**は、結果的に**自己矛盾**(「理想」を描いて「理想と反対」の方向に進むこと)に陥ることがある。
 - それゆえ、「理想に進んでいるつもりが**反理想**の方向に進んでいるかもしれない」といった**批判精神**に基づく**想像力**が重要である。
- **環境との対話**(communication)
 - 人間の棲家(**自然環境、社会環境**)の破壊を食い止めるために、「どうですか?」と**環境**と柔軟に**対話**することも重要である。

62

現代社会問題はADAPT

- 環境とAnalog連続性に接する存在なのに、Digital離散性に環境と離れて思考して矛盾・不合理(Absurdity)を巻き起こすのが人間であり、矛盾から来る問題(Problem)が表面化し、対処(Treatment)を必要とするのが現代社会。
- 人間が創造する事物は環境に負荷を与える
 - 人間の想像(理想・願望)は必ずしも環境の存続にとって好ましいものではないから、環境にとって負荷となることもある
 - 住みにくい社会環境、自然環境⇒反理想



2023年静岡大学人文社会科学部

公務員試験「小論文」対策 (第8講 テーマ学習②)

国家資格キャリアコンサルタント

ULTRA® Master Trainer

クロイワ 正一

64

制度疲労

- **社会制度は疲労する(制度疲労論)**
 - 人間が言語やイメージを駆使して作るのが**社会制度**だが、それが**言語化**(文書化)されると「有効か?無効か?」といった吟味なしに「守るべき**教義**(ドグマ)」のようになることがある。
 - ⇒ **イデオロギー化**(アイデアideaのロゴスlogos化)
 - **社会環境**が**変化**して**制度**が無効になっているにもかかわらず、ドグマ化した制度だけが幅を利かしていると、多くの**不都合**が生じる。
 - **社会制度**に対しても「本当にこの制度は有効か?」といった**批判精神**が必要である。

65

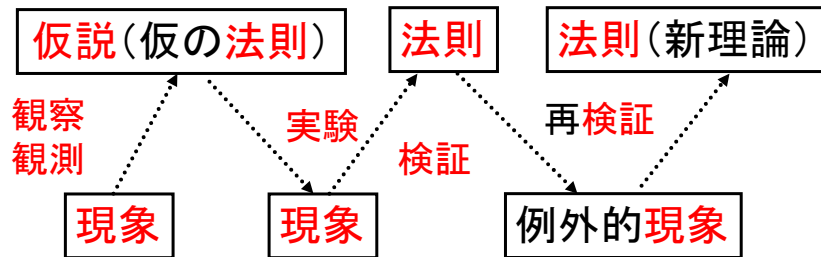
疲労が生じている社会制度

- **社会保障制度**
 - 高齢化社会から高齢社会へ
- **文化への認識**
 - ナショナリズムからグローバリズムへ
- **ジェンダー**に関する固定観念
 - 筋肉労働(男性上位)から頭脳労働へ(男女平等)
- **教育制度**
 - マスプロダクション教育から個性尊重型教育へ
- **言語**
 - 単一言語社会から複数言語社会へ

66

科学とは

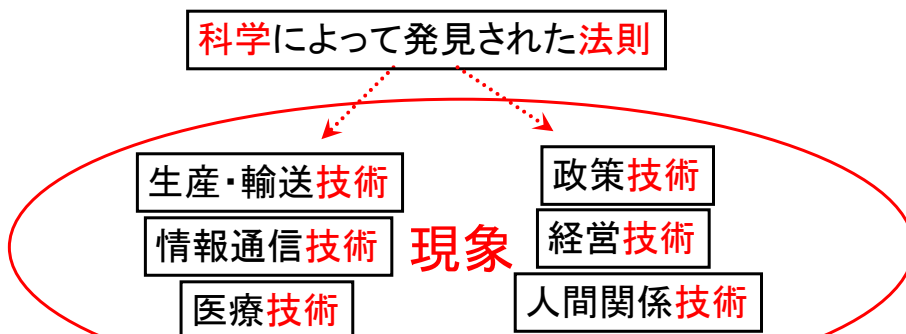
- そもそも「科学」とはどのような営みか？
 - 現象の観察・観測を通じて「こんな法則がありそうだ」という仮説を導き出し、さらなる観察・観測や実験を通じて仮説を修正・検証し、信頼性(再現性)のある法則を導き出す学問の過程



67

科学と科学技術

- 科学技術とは？
 - 科学(法則)を現象に応用する営み



68

科学の技術への応用

- 生産・輸送**技術**への**応用**
 - 動力開発**技術**(内燃機関)の開発により生産力・輸送力を向上
- 情報通信**技術**への**応用**
 - 電子操作**技術**の開発により大量・多様な情報を高速通信
- 医療**技術**への**応用**
 - 抗生物質やワクチンなどの開発により救命・延命を実現

69

科学技術の利便性

- **部分的・短期的な問題解決に有効**
 - もともと**科学**とは、**現象**を要素に分けて考えるため(**要素還元主義**、**分析主義**)、その**応用**である**科学技術**も1つ1つの要素についての問題解決には大きな効果を発揮する。
 - 「大量につくる」、「速く移動する」、「通信速度を早くする」、「できるだけ生命を延ばす」といったトピックに絞って効果を発揮(自然**科学**の応用)

70

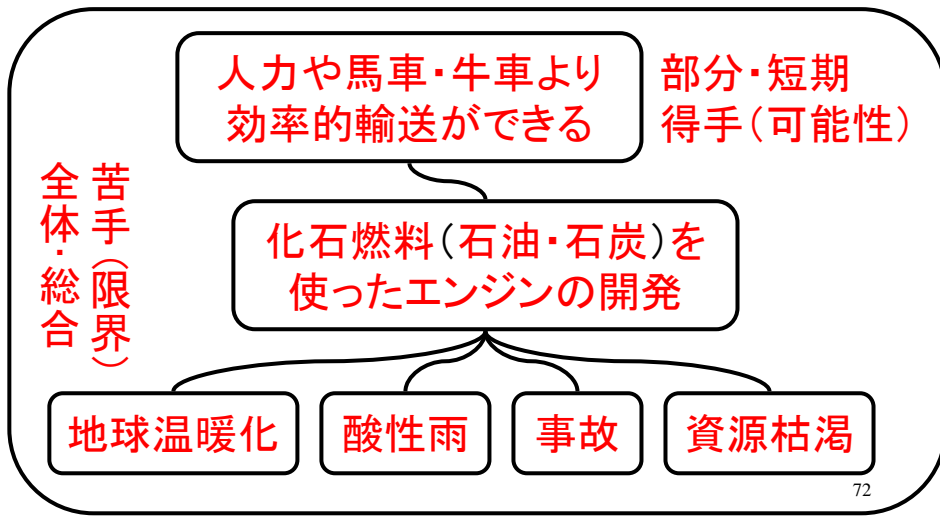
科学技術の限界

- **全体的・長期的な問題発生を招く**
 - **人間の生活環境(現象界)**は、科学が解明していない法則も含めて**総合的に**成り立っているから、「ある快適に実現」は、「別の快適の阻害」にもなる。
 - 「大量につくる」、「速く移動する」ことを実現し、「清しい空気を失う」ジレンマ、「子を風土病で失う悲しみから救済」され、「人口爆発で食の不足」などを生むジレンマなど。

71

科学の可能性と限界

- **科学の可能性と限界**



生産技術・輸送技術

- 内燃機関の開発
 - 大量かつ高速な生産と輸送が実現
 - 大量消費・大量廃棄による諸問題
 - 地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊など環境問題
- 石油化学製品の開発
 - 安価で耐久性のある製品の開発
 - 環境親和性の乏しさ
 - 環境ホルモン(外因性内分泌かく乱化学物質)など

73

情報通信技術

- 光ファイバー、大容量メモリなどの開発
 - 大量・高速・多種の情報の双方向送受信
 - ブロードバンド、マルチメディア、バーチャルリアリティ
 - 有害情報の流布、経済格差による知識格差
 - ハッキング、クラッキング、デジタルディバイド
- 情報通信技術(ICT)を扱う能力の必要性
 - Information Communications Technology
 - メディア・リテラシー

74

医療技術

- **延命・救命技術**の開発
 - 抗生物質の開発、臓器移植など
 - 人口構成の変化(高齢化社会、人口爆発)など
 - 免疫力低下、抗生物質耐性菌(MRSAなど)の出現
- **生殖医療技術**の開発
 - 人工授精(AIH、AID)、借り腹、代理母など
 - 既存の生命観との葛藤(「親は誰か?」)
- **遺伝子(ヒトゲノム)の解読**
 - 予防医学の可能性(遺伝子治療など)
 - 過度の「先天性」重視(後天的な努力を無視)

75

科学に対する批判精神

- **科学技術**によってもたらされる**不都合・危機**を可能な限り回避するために.....
 - 「**科学**は万能である」という**非科学的**な信仰からの脱却が必要
 - 「**利便性**のみをもたらすわけではない」という**科学技術**への**批判精神**が必要

科学が解明した世界

現象界

76

問題理解の指針

- 定義・問題点 (what?)
 - ～とは何か(どんなことか)?
 - ～の何が(どこが)問題なのか?
- 原因 (why?)
 - ～は(といった問題は)なぜ起こるのか?
- 解決策 (how?)
 - ～を(～といった問題を)どうすればよいのか? ⁷⁷

小論文テーマ

- 言語論
 - 言語とは何か(何が問題か)／なぜ人は言語を扱えるのか(問題が起こるのか)／どうすれば問題を解決できるのか
- 文化論
 - 文化とは何か(文化の概念のどこが問題か)／なぜ文化問題が生じるのか／異文化対立をどう解決すればいいのか
- 高度情報化社会
 - 情報とは、高度情報化社会とは何か(問題は)／なぜ情報問題、高度情報化問題が起こるのか／情報化社会問題をどう解決すればいいのか
- 歴史論
 - 歴史とは何か(どんな問題を孕むか)／なぜ歴史問題が生ずるのか／歴史問題をどう解決すればよいか ⁷⁸

- ジェンダー論

- ジェンダーとは何か(ジェンダーへのこだわりはどんな問題を生むか)／ジェンダー問題はなぜ起こるのか／どうジェンダーフリーを実現するのか

- 高齢化

- 高齢化社会、高齢社会とは何か(どのような問題があるか)／なぜ高齢化が進んだのか／どのように高齢化問題を解決すればよいか

- 教育論

- 教育とは何か(教育問題とは何か)／なぜ教育問題が生ずるのか／教育問題をどう解決するか

- 豊かさ論

- 「豊かさ」とは何か(豊かさの追求にはどんな問題があるか)／なぜ「豊かさ」問題が生じるのか／「豊かさの中の貧困」の問題をどう解決するか

79

- 国家論

- 国家 Nation とは何か(国家の規定はどんな問題を孕むか)／なぜ国家間対立問題が起こるのか／国家間問題をどう解決すればよいか(「大きな政府」か「小さな政府」か)

- グローバル化

- グローバル化 globalization とは何か、国際化 internationalization とは違うのか(どんな問題があるか)／なぜグローバル化が進んだのか／グローバル化の問題にどう取り組めばよいか

- 科学、科学技術と倫理

- 科学、科学技術とは何か(どこに問題があるか)／なぜ科学が生まれるか(科学技術問題が生まれるのか)／科学技術が生み出す問題にどう対処すればよいか・
- 倫理とは何か(生命倫理、環境倫理とは何か)／自己決定権、インフォーム・ドコンセント、Quality Of Life／自然物生存権の尊重(アニミズム)、世代間倫理、地球全体主義(グローバルイズム)

80

追加の練習問題

- 東京都 特別区職員 I類採用試験

(注意)

- 1 論文の課題は2題あり、このうち1題を選択してください。
- 2 論文は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間20分です。
- 4 字数は1,000字以上1,500字程度です。
- 5 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 6 問題は持ち帰ってください。

81

論文課題 1

近年、放置されたまま老朽化が進行する空き家が全国的に増加し、都市部においても空き家の更なる増加が懸念されています。増加する空き家は、景観の悪化、地域の治安や防災機能の低下など、周辺地域に様々な問題を引き起こしています。

一方で、空き家を地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に活用していこうという取組みも始まっています。

このような状況を踏まえ、地域の安全や活力に影響を及ぼす空き家問題について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

82

論文課題 2

少子高齢化が急速に進み、人口減少社会を迎える中で、社会の活力を維持し、持続的成長を実現していくために、社会のあらゆる分野において女性の活躍が期待されています。一方で、女性を取り巻く社会環境は、働く場での男女間格差の問題や家庭生活における役割の偏重など、女性の意欲や能力が十分に発揮できる状況にあるとはいえません。

このような状況を踏まえ、社会における女性の活躍推進について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。